

会 議 議 事 録

会 議 名	平成30年度 第2回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校
開催日時	平成30年11月2日 (水) 18時 ~ 20時	
会 場	専門学校 東京工科自動車大学校 123教室	
参 加 者	委員 (敬称略)	7人 【出席：6名】浅古純一・田中広美・田中洋子・沼田勇 北澤聡・近藤克巳(植草賢治代理) 【欠席：1名】佐々木洋文
	事務局	3人 山口泰之・澁谷健・市川隆由
会 議 録	<p>1. 校長挨拶 山口より冒頭の挨拶と以下の近況報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトセミナー成果発表会のご案内(12月12日予定) ・留学生の入管審査結果について、在籍管理が適正とみなされ「適正校」としての認定が継続された。 ・学園祭の募金(チャリティー、野菜販売)を、例年に倣い日本ユニセフ協会へ寄付する予定である。 <p>2. 委員会成立の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より委員7名中6名出席で、会則第5条の2に基づき、出席者が委員総数の過半数の出席を満たしているため本委員会が成立していることを確認した。 <p>3. 学校関係者評価委員会の議長、書記選出 議長に委員長の浅古純一氏、書記に田中広美氏が選任された。</p> <p>4. 議事</p> <p>①第1号議案：前回議事録の確認【資料A】 事務局より、資料A「平成30年度第1回学校関係者評価委員会会議議事録」に基づき議事内容について概略を説明し議事内容に関する確認がなされた。</p> <p>②第2号議案：公開情報更新について【資料B】 事務局より資料Bに基づき学園HPの公開情報に関して掲載状況(様式4の紹介、7月31日付で更新済)について紹介と説明があった。</p> <p>③第3号議案：H30年度の取り組みに関する進捗状況【資料B】 事務局より資料Bに基づき以下の報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修状況に関する経過報告 ・留学生について、入学以前(日本語学校当時)のアルバイトで資格外活動制限とされる28時間を超過していたことによりビザの更新許可とならず退学(帰国)となったケースが数件発生した。 ・それ以外は大きな問題も無く順調に推移している。 	

- ・10月末現在の就職状況は全体で94%
エンジンメンテナンス科は、レース業界希望者がいる関係で若干内定率が低くなっている
1級自動車整備科は100%を達成
- ・就職対策として、3期に「作文、SPI試験、履歴書作成」を実施した。
今後、5期には企業研究会を計画している。
- ・資格取得について、危険物乙種4類資格の合格率が当年は低かった。対策として次年度はテキストの見直しを検討している。
- ・1級資格対策については、教員（非常勤でカバー）を増強し2クラス3名体制で臨む計画である。毎日グループ分けを行い意識付けと実力向上を目指し昨年よりも効果が出ている。
- ・企業連携実習
7月にマツダセミナー開催：1級科1、3年生を対象にマツダ社様の協力の下、整備実習、最新整備について実務指導を受けた。
11月にダイハツセミナー開催：神奈川ダイハツ販売様に協力いただき実施した。
- ・6月～7月に1級科4年生を対象とした企業インターンシップを実施。
- ・企業連携イベントとして8月3日に「モーターショーin NAKANO」を実施。
- ・地域連携として中野地域（昭和地区祭り、文園ランド祭り等）の取り組みを紹介。
- ・教職員研修として、7月にトヨタ東京カローラ(株)様における「新機構・新技術」研修会にグループ全体で23名の教員が参加し受講した。

④第4号議案：H31年度学校関係者評価スケジュールについて【資料B】

事務局より資料Bに基づき今後のスケジュールについて説明があった。

自己評価報告書のチェックにご協力いただきたい。

日程としては、3月8日までに完成、3月15日までに浅古委員長の確認を経て、その後、各委員に確認いただく予定である。

次年度は、7月3日（水）、11月6日（水）2回の開催を計画している。

⑤その他（各委員との意見交換）

北澤氏：所属企業での採用について、最近ではメカニックの人材不足から外国籍が増えてきている。日本人と遜色ない優れた人材も多く、これからも引き続きお願いしたい。

沼田氏：働き方改革、健康、業界イメージの向上に取り組んでいる。外国籍の採用も増え、ネックとなっていた保証人問題も解消している一方、言葉の問題から喋れない人材が心配。教育のアイデアがあれば教えてもらいたい。採用面接でも適性試験のバランスがおかしい場合もあり、日本語での会話機会を増やすことが肝要と思える。

浅古氏：日常会話だけでも日本語版のスピードラーニングに取り組んではいかがか。

田中洋子氏：文園町会は1年中行事が続き年々盛んになっており、他の町会からは羨ましがられている。地域の方からも「素直な学生」といった声が聞こえ、町会としても感謝の言葉しかない。

田中広美氏：学園祭に来校して学校の様子が良く分かった。保護者にもっと多く来校してもらった方が良い。留学生も多く学生の感じが良かった。何を聞いても丁寧に分かりやすく説明してくれたので驚いた。クルマの学校なので怖いイメージがあったが、そんなことは無用であることが分かった。学生が輝いて見え、すごく良い学校だと思った。

近藤氏：日本人のコミュニケーション能力が低くなっている。就職後も周りに馴染めずリタイアしてしまうケースも多く、留学生ばかりでなく日本人の教育もお願いしたい。自分の進路を学校時代に確り考えてもらいミスマッチの無い就職をしてもらいたい。合格率の低迷については、やはり過去問題をしっかりと理解させることが肝要では。

浅古氏：金型制作のメーカーに就職したベトナム難民の事例となるが、日本文化が好きでコミュニケーション能力が高い人物、職人としての技術を習得し職場の環境にも恵まれ、今や会社の心臓部となっている。

日本人の事例としては、5年前に職場体験で来社した中学2年の生徒が体験を通じて自動車に興味を抱き工業高校に進学した後にメーカー（スバル）への就職を果たした。高卒での採用は50名中2名と狭き門だった。日本の自動車産業は世界に誇れる。

電球を発明したトーマスエジソンは2万回失敗しても絶対あきらめない努力の人だった。マザーテレサの名言（家に帰って家族を愛して、世界平和）に感動し着眼点が変わった。どんなに良い環境であっても本人にやる気がなかったら一歩も進めない。餅は餅屋、試験に特化して人間力を教える教員が重要。

5. 事務連絡

次回の開催日程

- ・平成31年度 第1回学校関係者評価委員会開催日程について
平成31年7月上旬を予定している。

6. 閉会

以上

会議風景

